

福 田 組 か ら 株 主 の 皆 さ ま へ

F U K U D A R E P O R T

第96期 報告書

2022年1月1日～2022年12月31日



株式会社 **福田組**

証券コード：1899

地域に根差し、地域を超えて マルチ・ステークホルダーとの 強い絆を築いてまいります。

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて当社は2022年12月31日をもって、第96期事業年度を終了しましたので、ここに当事業年度の概況をご報告申し上げます。

当社グループは「人と自然、社会と共存できる環境づくり」を基本理念として、またフクダグループスピリット「100年先も誠実」を掲げ、当社グループの総力を結集し、誠実を貫き、大切な人たちとの強い絆をつくりあげ、そのいのちと暮らしを守りつづけます。また、当社は「挑戦する企業体質のもと、人間と環境を大切にし、感動的価値の創造を目指す」ことを経営理念に掲げ、顧客・株主・取引先・地域社会・従業員など、すべてのステークホルダーとの強い絆を築くため、全社一丸となって取り組んでおります。

当事業年度の業績は後記のとおりであります。今日の不確実性が増す経済状況のなかにおいても、企業価値の向上と健全なグループ経営基盤の維持を図り、今後とも株主皆さまのご期待に沿えるようグループ一丸となって邁進する所存でございます。

株主の皆さまにおかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



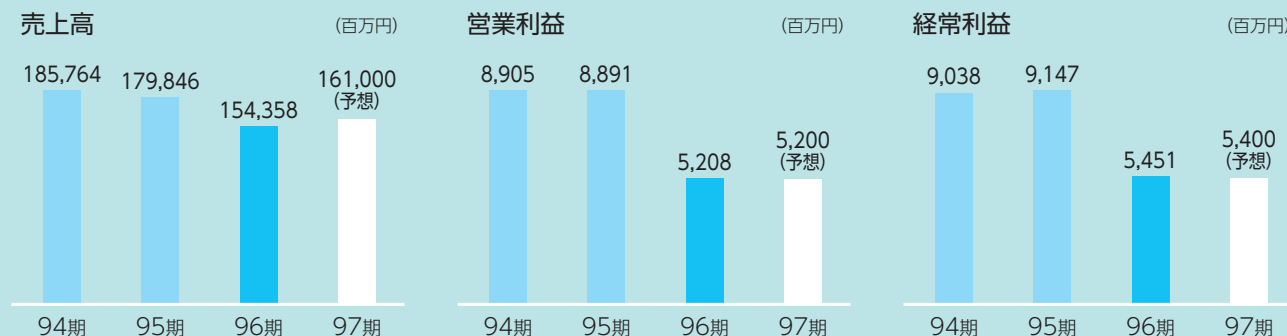
代表取締役会長
福田 勝之



代表取締役社長
荒明 正紀

2023年3月

財務ハイライト



▼ 当事業年度の市場環境

コロナ禍からの経済活動正常化に進みつつあるなか、ウクライナ情勢の緊迫化や中国経済の減速が大きな逆風となり、交易条件の悪化により輸入物価の高騰を招いたことから、企業や家計への負担を大きく増加させ、経済の回復傾向は緩やかなものに留まりました。企業収益においては、海外展開が進む大企業やサービス業を中心とした非製造業は高水準を維持した一方、製造業では円安による原材料価格の上昇が収益の悪化を招き、そのうち価格転嫁が十分でない中小企業の経営状況は厳しい状態が続きました。また個人消費においても、ワクチン接種の進展を受けて人出が回復したものの、生活必需品の価格上昇により消費行動には慎重姿勢が見受けられ、サービス消費は緩やかな回復にとどまりました。

建設業界におきましては、公共建設投資においては引き続き防災対策や設備の老朽化に伴う維持更新への需要が堅調でありました。民間建設投資は、新型コロナウイルス感染症対策と経済活動の両立により、企業の設備投資が積極的姿勢に変わった反面、資材価格高騰による建設コストの増加が生じたことから、採算面においても押し下げ圧力が強くなりました。

▼ 当事業年度の連結業績概要

当期の連結経営成績において、売上高は、コロナ禍による工事の大幅な遅延等はなく、進捗が図られたものの、発注時期の遅れが影響した前期受注高の減少に伴い前期繰越手持高が前年を下回ったことなどにより、前年同期比14.2%減の1,543億円余となりました。

利益面におきましては、売上高の減少に加え、不採算工事の発生や建設資材等の物価上昇による採算面の悪化が影響して粗利益率が低下したことにより、売上総利益は前年同期比19.1%減の151億円余となり、販売費および一般管理費の増加もあって、営業利益は前年同期比41.4%減の52億円余となりました。

また営業外損益においては、前年と大きな変動がなく、経常利益は前年同期比40.4%減の54億円余となりましたが、前年計上していた関係会社株式評価損の発生は無く、減損損失が減少、加えて税金等調整前当期純利益の低下に伴い法人税等の税金費用が減少したため、親会社株主に帰属する当期純利益は、前年同期比37.7%減の36億円余となりました。

▼ 次期の見通し

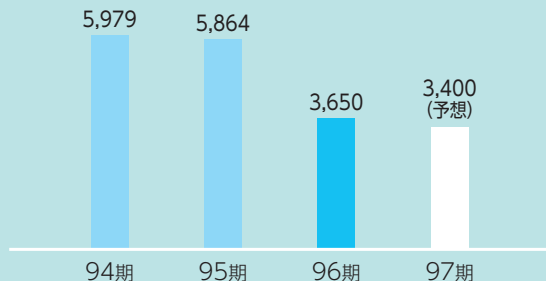
建設業界におきまして公共建設投資では、引き続き国土強靱化のための予算執行に加え、資材価格高騰を踏まえた事業予算を投ずるものと思われることから、金額的增加が見込まれるものの、発注量としては変わらないものと推測されます。

一方、民間建設投資においては、企業の設備投資で増加基調が続くものと思われ、特に脱炭素化に向けた環境投資や省力化を目的とする情報化投資等、コロナ後を見据えた投資需要が一層活発化すると予想されます。当社としては、このような状況でも、堅調なEC取引から需要が見込まれる物流施設や脱炭素社会実現に向けた再生可能エネルギー関連施設など、好調な分野の受注を目指してまいりる所存であります。

このような環境に対応すべく、2025年を最終年度とする「中期経営計画2025」の目標達成に向けて施策を確実に実行してまいりる所存であり、目まぐるしく変化する社会だからこそ地域に根差し、また地域を超えたバランスの取れた事業活動を通じて、マルチ・ステークホルダーとの関係性を一層強化してまいります。

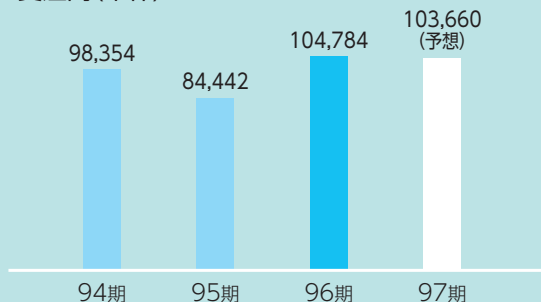
親会社株主に帰属する当期純利益

(百万円)



受注高(単体)

(百万円)





地域に根差し、地域を超えて マルチ・ステークホルダーとの 強い絆を築く

10年後のあるべき姿を示した長期ビジョンの
最終フェーズとなる2022年、中期経営計画2025を
策定しました。

長期ビジョン2025

100年の歴史の伝承と
次の100年に向けた挑戦

- 強い連結経営で
地方ゼネコンの枠を超えた全国展開
- 品質と安全で顧客満足の創造
- 高い技術力・高い提案力のある企業集団
- 優秀な人材の確保と活躍できる環境の整備
- 全てのステークホルダーと
WIN・WINの関係を構築

当社の目指すべき姿

前中計2021

- 事業のポートフォリオ変革
- 新たな収益基盤
- 人材の確保・多様化

新中計2025

次の100年での
持続的成長を見据え
企業の『質』の充実を
目指す

基本方針

主要事業（建設・不動産）の進化と深化
～再強化と可能性の追求～

フクダグループによる誠実ブランドの確立
～信頼による営業力の強化～

安全と品質の強化と徹底

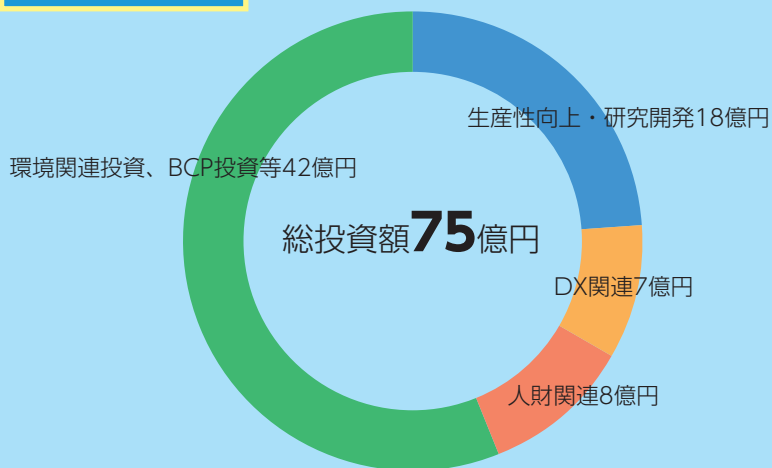
人財の充実と成長
～組織を支える多様な基盤の整備～

企業価値向上のためのESG経営

業績目標・経営数値目標

- 売上高……………**1,850**億円
- 営業利益……………**84**億円
- 売上高営業利益率……………**4.5**%
- 自己資本比率……………**50.0**%
- ROE……………**8.0**%程度
- 配当性向……………**20.0**%以上

投資計画



当事業年度の主な完成工事

建 築



三条市 様
図書館等複合施設建設本館建築本体工事（新潟県）



カナカン株式会社 様
（仮称）カナカン株式会社 新長岡物流センター新築工事（新潟県）



三井不動産レジデンシャル株式会社 様
（仮称）北区赤羽南二丁目計画新築工事（東京都）



国立大学法人 岐阜大学 様
手術棟施設および事業者提案施設整備運営等事業（建設工事）（岐阜県）



住友商事株式会社 様
（仮称）元白川小学校跡地再開発計画新築工事（京都府）



穴吹興産株式会社 様
（仮称）アルファスマート九品寺新築工事（熊本県）



新潟県 様
新潟港海岸（松浜地区）西埋立地護岸改良（その3）工事（新潟県）



新潟県 様
岩船港3年災害海岸災害護岸復旧工事（新潟県）



西日本高速道路株式会社関西支社 様
湯浅御坊道路 柳瀬トンネル他1トンネル工事（和歌山県）



新潟県 様
一般国道253号三和安塚道路（仮称）本郷トンネル工事（新潟県）

当事業年度の主な受注工事および完成工事

受注工事

- 株式会社相鉄アーバンクリエイツ様
（仮称）ゆめが丘大規模集客施設新築工事
- 株式会社国際総合計画様・日生不動産販売株式会社様
新潟駅南口西地区優良建築物等整備事業に係る施設建築物新築工事
- 千葉県様
江戸川第一終末処理場水処理第2系列土木工事
- 戸田建設株式会社様
SGET岩泉ウィンドファーム建設工事

完成工事

- 大和ハウス工業株式会社様
（仮称）流山おおたかの森B35街区商業プロジェクト新築工事
- 住友商事株式会社様
（仮称）元白川小学校跡地再開発計画新築工事
- 東京都下水道局様
森ヶ崎水再生センター（西）水処理施設耐震補強及び合流改善施設建設工事
- 東京都水道局様
多摩北部給水所（仮称）築造工事

TOPICS 1 地域社会との連携で社会貢献 当社作業服を寄贈

当社は作業服のリニューアルを行い、入替に伴い使用しなくなる作業服を地域の福祉施設に寄贈させていただきました。未着用の作業服は、社会福祉法人 新潟市中央福祉会様と社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会様へ、着用済みの作業服は、社会福祉法人新潟もぐら会様へ、それぞれ寄贈をさせていただきました。

寄贈させていただいた作業服は、ウエスとしての再利用、施設での作業時や、災害地の復旧作業の際にご使用いただくなど、地域の福祉向上のためにご活用いただけるとのことです。

当社は地域に密着した企業として、このような支援団体への寄付・寄贈を通じて社会に貢献してまいります。



TOPICS 2 建設産業の担い手の確保および育成への取り組み 「建設人材育成優良企業表彰で優秀賞」を受賞

国土交通省が今年度新たに創設した建設人材育成優良企業表彰で、第1回目の優秀賞を受賞いたしました。建設キャリアアップシステムをはじめとして、「建設産業の担い手の確保および育成」に向けての取り組みをご評価いただきました。今後とも労働環境の改善や人材の育成等についてより積極的に取り組んでまいります。



TOPICS 3 確かな技術力で社会基盤づくりに貢献 「工事成績優秀企業」「ICT活用工事成績優秀企業」認定



国土交通省北陸地方整備局より令和4年度「工事成績優秀企業」および「ICT活用工事成績優秀企業」の認定および表彰を受けました。「工事成績優秀企業」は10年連続、「ICT活用工事成績優秀企業」については令和3年度に続き4度目の認定となり、施工管理や品質管理など、当社の技術力と提案力を高くご評価いただきました。

連結財務諸表

●連結貸借対照表 (単位：百万円／百万円未満切捨)

科目	96期(2022.12.31現在)	95期(2021.12.31現在)
資産の部		
流動資産	99,083	95,462
固定資産	35,268	35,292
資産合計	134,351	130,755
負債の部		
流動負債	48,652	47,024
固定負債	7,195	7,318
負債合計	55,847	54,342
純資産の部		
株主資本	77,329	75,131
その他の包括利益累計額	504	636
その他有価証券評価差額金	802	677
土地再評価差額金	115	△112
退職給付に係る調整累計額	△414	72
非支配株主持分	670	643
純資産合計	78,504	76,412
負債・純資産合計	134,351	130,755

●連結株主資本等変動計算書 (2022.1.1～12.31) (単位：百万円／百万円未満切捨)

	株主資本				株主資本 合計	その他の包括利益累計額				非支配 株主持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式		その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	5,158	6,169	66,075	△2,271	75,131	677	△112	72	636	643	76,412
会計方針の変更による累積的影響額			△130		△130						△130
会計方針の変更を反映した当期首残高	5,158	6,169	65,944	△2,271	75,001	677	△112	72	636	643	76,281
当期変動額											
剰余金の配当			△1,120		△1,120						△1,120
親会社株主に帰属する当期純利益			3,650		3,650						3,650
自己株式の取得				△20	△20						△20
自己株式の処分		0		43	43						43
連結範囲の変動					—						—
土地再評価差額金の取崩			△225		△225						△225
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						125	228	△486	△132	26	△105
当期変動額合計	—	0	2,305	22	2,328	125	228	△486	△132	26	2,222
当期末残高	5,158	6,169	68,250	△2,248	77,329	802	115	△414	504	670	78,504

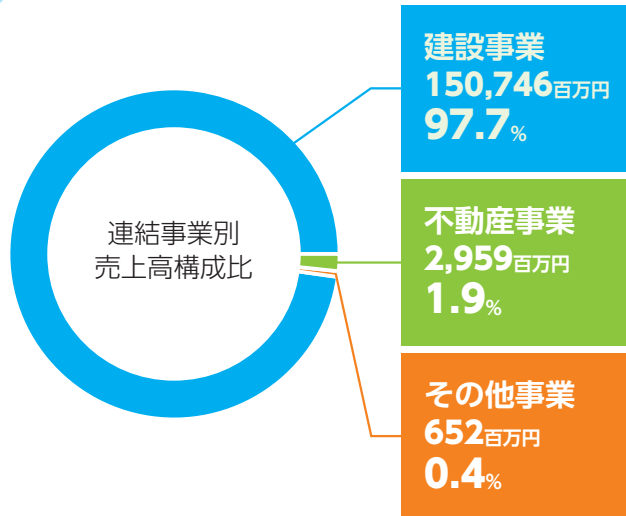
●連結損益計算書 (単位：百万円／百万円未満切捨)

科目	96期(2022.1.1～12.31)	95期(2021.1.1～12.31)
売上高	154,358	179,846
売上原価	139,186	161,102
売上総利益	15,172	18,744
販売費及び一般管理費	9,963	9,852
営業利益	5,208	8,891
営業外収益	346	397
営業外費用	103	141
経常利益	5,451	9,147
特別利益	69	64
特別損失	65	413
税金等調整前当期純利益	5,455	8,799
法人税、住民税および事業税	1,831	2,748
法人税等調整額	△74	138
当期純利益	3,698	5,911
非支配株主に帰属する当期純利益	47	47
親会社株主に帰属する当期純利益	3,650	5,864

●連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円／百万円未満切捨)

科目	96期(2022.1.1～12.31)	95期(2021.1.1～12.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,022	7,802
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,133	△1,505
財務活動によるキャッシュ・フロー	970	△6,128
現金および現金同等物の増減額	4,860	168
現金および現金同等物の期首残高	23,285	23,116
現金および現金同等物の期末残高	28,146	23,285

事業概況／子会社紹介



当社が建設工事の受注・施工を行うほか、子会社の福田道路(株)他22社、関連会社の(株)高建他4社が建設工事の受注や施工、ならびに建設工事関連資機材の賃貸や製造販売等を行っており、その一部は当社が発注しております。

当社が不動産の売買・賃貸および開発に関する事業を行っているほか、子会社の福田アセット&サービス(株)他4社、関連会社の(株)高建他1社が不動産事業を行っております。

子会社の福田道路(株)他4社は建設工事関連以外の製品の賃貸や製造販売等を行っております。また子会社の(株)デザイン工房は、福祉施設を経営しております。

タイフクダコーポレーションリミテッド

当社は1992年5月に設立し、昨年30周年を迎えました。

お客様はタイに進出された製造業を中心とした日系企業様で、主に工場、倉庫を施工させていただいています。

日本人とタイ人の緊密な連携により、お客様にご満足いただける品質とスピーディーなサービスを心掛けております。

30年の間、お客様の新築から増改築、アフターフォローを一貫してサポートしてまいりました。

これからも、「100年先も誠実」の精神でお客様とともにタイでの発展を目指してまいります。

■ 代表者	Managing Director 藤田裕介
■ 所在地	66 NUAM BUILDING, 15F, Room 1509-1510, Asoke Rd, North Klongtoey, Wattana, Bangkok 10110, Thailand
■ 設立年月日	1992年5月
■ 資本金	1,000万バーツ
■ 従業員	25名
■ HP	http://www.tfd.co.th
■ 事業内容	タイにおける建設工事の請負、企画、設計、監理およびコンサルティング業務



■ 会社の概況 (2022年12月31日現在)

創業 1902年1月

設立 1927年12月

資本金 5,158,408,496円

従業員数 883名

連結子会社 16社 (福田道路(株)他)

主要な事業所

- 本社
新潟市中央区一番堀通町3番地10
電話 025-266-9111 (大代表)
- 本店・支店
新潟本店(新潟市中央区)
東京本店(東京都千代田区)
東北支店(仙台市青葉区)
名古屋支店(名古屋市中区)
大阪支店(大阪市北区)
九州支店(福岡市博多区)
中越支店(新潟県長岡市)
北海道支店(札幌市中央区)
- 営業所
盛岡、千葉、横浜、村上、上越、広島ほか
5営業所

主要な子会社

福田道路(株)
(株)興和
フクダハウジング(株)
(株)レックス
福田アセット&サービス(株)
(株)新潟造園土木
福田リニューアル(株)
北日本建材リース(株)
(株)リアス

■ 役員 (2023年3月28日現在)

代表取締役 執行役員会長	福田 勝之	社外取締役 監査等委員	中田 義直
代表取締役 執行役員社長	荒明 正紀	社外取締役 監査等委員	若槻 良宏
取締役 常務執行役員	齋藤 秀明	執行役員副社長	藤山 秀章
取締役 常務執行役員	山賀 豊	上席執行役員	尾崎 清美
取締役 常務執行役員	大塚 進一	上席執行役員	追木 博幸
取締役 執行役員	小見 年雄	上席執行役員	山本 幹夫
社外取締役	永塚 重松	執行役員	湯上 聡
社外取締役	上原 小百合	執行役員	小川 暁彦
取締役 監査等委員	岩崎 勝彦	執行役員	清水 浩
		執行役員	矢澤 重正
		執行役員	今野 和則
		執行役員	砂田 修一

注1. 永塚重松、上原小百合の両氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。
注2. 中田義直、若槻良宏の両氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役(監査等委員)です。

■ 株式の状況 (2022年12月31日現在)

発行可能株式総数 20,000,000株

発行済株式の総数(自己株式を除く) 8,619,102株

株主数 7,012名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行(株) (信託口)	706	8.2
(公財) 福田育英会	688	8.0
福田 直美	431	5.0
(株) 第四北越銀行	419	4.9
小沢 和子	321	3.7
福田石材(株)	286	3.3

(注) 持株比率は自己株式(369,009株)を控除して計算しております。なお、当該自己株式数は、「株式給付信託(J-ESOP)」および「役員株式給付信託(BBT)」制度の信託財産として、(株)日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式(91,700株)は含まれておりません。

株主メモ

事業年度 1月1日から12月31日まで

定時株主総会 3月

基準日 定時株主総会 12月31日
期末配当金 12月31日
中間配当金 6月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
【連絡先】
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
TEL 0120-232-711 (通話料無料)
【送付先】
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

単元株式数 100株

上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場

公告の方法 電子公告の方法により行います。
ただし、やむを得ない事由により電子公告による
ことができない場合は、日本経済新聞に掲載いた
します。
公告掲載URL <https://www.fkd.co.jp/>

【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、口
座を開設されている証券会社等にお問い合わせ下さい。株主名簿管理
人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意下さい。
なお、未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の本支店で
お支払いいたします。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三
菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座
の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせ下さい。
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

株主優待制度

当社では、日頃の株主様の御支援に感謝申し上げるとともに、
弊社株式を末永く保有していただくことを目的に、株主
優待制度を導入しております。

保有株式数	優待贈呈内容	贈呈実施基準
200株以上	金券 2,000円分	毎年12月31日現在の株主 名簿に記載または記録さ れた内容に応じ贈呈
200株以上	金券 5,000円分	1年以上継続保有(株主名 簿に3回以上記載または記 録)された内容に応じ贈呈

贈呈時期 毎年3月下旬発送予定



福田組 検索 <https://www.fkd.co.jp/>



本社／新潟市中央区一番堀通町3番地10
電話 025-266-9111 (大代表)